



3歳の女の子のママ

長女の発達が保育園に通っている他のお友達と少し違うなと気が付いたのは、長女が2歳になる少し前くらいでした。その頃の長女は、言葉こそある程度出ていたものの、周りのお友達には全く興味を示さず、また、些細なことで癇癪を起してひっくり返って泣くことが多く、私もどう対応してよいのかわからず困り果てていました。

2歳のお誕生日を迎えた少し後くらいから、小児神経専門医のいる大学病院に通い始め、また、居住地の自治体が運営する区の療育センターに月に2回のペースで通うことになりました。私も様々な本を読み長女への対応方法を勉強したり、区の療育センターで臨床心理士の先生に困りごとを相談したりして、何とか日々やり過ごしていましたが、2歳代の激しいイヤイヤ期も重なり、もう少し手厚く見てもらえる場所はないか探していたところ、通っていた大学病院の小児神経専門医の先生に紹介して頂いたのがもうひとつのおうちでした。

もうひとつのおうちのプレスクールを見学したのは2月中旬の寒い時期でした。とても寒い季節でしたが、リサ先生を始めとする先生方が笑顔で出迎えてくださり、また、プレスクールも一般の住宅の一室を少し改造したところで行っており文字通りもうひとつのおうちのような優しく温かな雰囲気、初めての場所でしたがほっとしたのを覚えています。





ここなら温かく自然な環境のもと長女も楽しく通いながら成長することが
できるのではないかと思い、週に4回もうひとつのおうちに通うこと
にしました。

もうひとつのおうちに通い始めて、約8カ月が経過しました。この間の
長女の成長は本当に目覚しいものがあります。通い始めてほどなくトイ
レトレーニングは終了しましたし、痙攣を起す回数もずいぶんと減り、
落ち着いて行動できるようになってきました。もうひとつのおうちに通
い始める前は、長女と歩いていると手を振り払って好きな方向に走って
いってしまい危険なため、ベビーカーなしでの外出は考えられませんでした。
しかし、もうひとつのおうちに通い始めて2~3か月後には、ベビ
ーカーなしでも落ち着いて外出ができるようになりました。今では長女
と二人でカフェに入ることもできます。以前のことを思えば夢のようで
す。また、同年代の子供への興味を全く示さなかった長女でしたが、今
では積極的に友達に話しかける場面も増えてきました。

もちろんまだまだいろんな課題は残っていますし、もうひとつのおうち
に通い始めた後も、成長とともに新たな課題が出て来たり、成長が停滞・
後退しているように見えたりする時期もありました。そんな時でも、リ
サ先生を始めとする先生方が一生懸命長女のために試行錯誤しながらが





んばってください、ひとりで先の見えない子育てをしているのではない
と実感できるだけで本当に救われる思いです。

そして先生方以外にも、もうひとつのおうちで、同じような悩みを共有
できるママさんたちに出会えたことは私にとってかけがえのない財産と
なりました。

もうひとつのおうちに出会えて本当に良かったです。これからも末永く
お世話になりたいと思っています。

